

常陸大宮市 義務教育施設適正配置基本計画 — 教育資源の有効活用に向けて —

11月20日、市義務教育施設適正配置審議会（岡山和夫会長ほか委員29人）から市教育委員会細谷篤正委員長へ答申書が提出されました。

このような状況を踏まえ、常陸大宮市の義務教育施設等の適正な配置と今後の整備を計画的に進めるため、義務教育施設適正配置審議会において審議を重ね、基本計画を策定しました。

本市の教育委員会所管の施設は、小学校19校、中学校7校、幼稚園4園及び給食センター3ヶ所等となっていますが、本市においても、社会的な問題である少子化の影響は深刻で、現在市内小学校の5校において、複式学級による授業が行われています。また、児童生徒数は平成25年度までに、約15%の減少が予想されるなど、学校運営等への影響が懸念されています。

策定の経緯



小学校の『適正規模』と『適正配置』

学校教育法施行規則では、小学校の学級数について「12学級以上18学級以下」を標準としていますが、現状と課題、施設規模、市民アンケート等の結果、地域の成り立ち（コミュニティ）や地理的条件などを踏まえ、常陸大宮市における小学校の適正規模を次のように定めます。

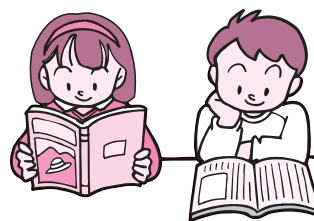
常陸大宮市における小学校の適正規模

6学級～16学級（1学年1～3学級程度）

なお、地域の成り立ち（コミュニティ）や地理的条件などの理由で、「1学年1学級の学級編制となる場合は、概ね20人以上」を小学校の標準規模とします。

常陸大宮市における小学校の適正配置

今後、過小規模校及び小規模校となることが予測される小学校については、小学校の適正規模を満たすよう施設規模や地理的条件などを考慮した上で適正に配置することとします。また、遠距離通学となる場合はスクールバスなどによる通学支援を検討します。



1学級の人数の考え方

- ①複式学級の解消を図る。
 - ・適正規模の観点から複式学級（2つの学年で16人以下）を避ける。
- ②1学級40人を基本とするが、1学年1学級の場合は、概ね20人以上を標準規模とする。
 - ・市民アンケートによる「40人に満たない場合は20～30人」を反映する。
- ③既存の施設を利用する。
 - ・現在の校舎の活用と施設規模を踏まえた学級編制を前提とする。

中学校の『適正規模』と『適正配置』

学校教育法施行規則では、中学校の学級数について「12学級以上18学級以下」を標準としていますが、現状と課題、施設規模、市民アンケート等の結果、地理的条件などを踏まえ、常陸大宮市における中学校の適正規模を次のように定めます。

常陸大宮市における中学校の適正規模

6学級～15学級（1学年2～5学級程度）

なお、地理的条件などの理由により、適正規模を満たす学級編制が困難で、「1学年1学級の学級編制となる場合は、概ね30人以上」を中学校の標準規模とします。

常陸大宮市における中学校の適正配置

小学校の再編による通学区を基本とした学区の変更を図ることや、既存の学校施設の状況や生徒の安全確保等を念頭に置いて、学校の統廃合による適正配置を行います。また、遠距離通学となる場合はスクールバスなどによる通学支援を検討します。

1学級の人数の考え方

- ①原則として1学年単学級の解消を図る。
 - ・クラス替えにより、新しい仲間との出会い、自己発見、人間関係を学ぶ。
- ②1学級40人を基本とするが、1学年1学級の場合は、概ね30人以上を標準規模とする。
 - ・市民アンケートによる「40人に満たない場合は30人」を反映する。



実施に向けて

本市の小中学校の児童生徒数の減少は今後も続くことが予想される中、より良い教育条件、教育環境を整備していくことを念頭に、児童生徒や学級数の将来推計、アンケート調査などから、常陸大宮市における義務教育施設等の適正配置を示した当審議会の答申実現に向け、行政当局はもとより、教育委員会においても適正配置の実現に最大限の努力を願うものである。

また、学校はそれぞれの地域の歴史やコミュニティと深い結びつきを持つっており、本市の約34.8km²と広大な市域を考慮すると、学校の適正配置の実施にあたっては、地域の実情や学校に対する地域の考え方、種々の問題点などを十分聴取するとともに、遠距離通学となる児童生徒への通学支援や通学区の弾力的運用などを検討されたい。

なお、常陸大宮市における学校の適正規模化を図るため、本答申に基づき、今後、より具体的な義務教育施設適正配置計画を策定し、適正配置に向けた条件が整いしだい計画を実施すべきである。

（申答書より抜粋）

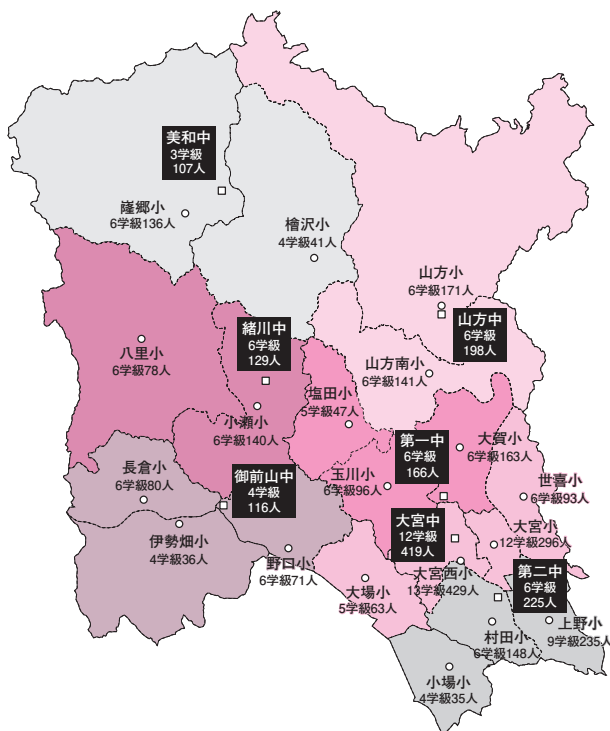
◆現在と将来の学校規模

規模区分	小 学 校		中 学 校	
	H19	H25	H19	H31
過小規模校 (1～5学級)	大場小・小場小・塩田小 檜沢小・伊勢畑小	小場小・塩田小・世喜小 檜沢小・八里小	美和中 御前山中	第一中・山方中 美和中・緒川中 御前山中
小規模校 (6～11学級)	村田小・上野小・大賀小 玉川小・世喜小・山方小 山方南小・薩郷小・小瀬小 八里小・野口小・長倉小	村田小・大場小・上野小 大宮小・大賀小・玉川小 山方小・山方南小・薩郷小 小瀬小・(仮称)御前山小	第一中 第二中 山方中 緒川中	大宮中・第二中
適正規模校 (12～18学級)	大宮小・大宮西小	大宮西小	大宮中	—
合 計	19校	17校	7校	7校

規模区分は「これからの学校施設づくり」（昭和59年旧文部省助成課資料）による

◆現在の学校の場所と通学区域

*数字は平成19年5月1日時点の学級数と児童生徒数



◆児童生徒数の推計

単位：人

学校名	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	
小	村田小	154	156	148	157	161	162	158	160	162
	大場小	61	57	63	66	70	69	63	66	56
	小場小	47	40	35	30	29	25	26	26	28
	上野小	240	246	235	241	232	230	226	219	210
	大宮小	286	288	296	297	288	278	263	253	232
	大賀小	162	163	163	157	150	136	129	113	95
	玉川小	104	103	96	103	93	90	89	80	74
	塩田小	50	51	47	42	36	31	32	28	24
	世喜小	88	83	93	87	81	79	72	68	60
	大宮西小	433	423	429	448	445	451	474	487	488
	山方小	198	184	171	164	159	153	148	139	133
	山方南小	153	144	141	137	135	135	133	122	113
	檜沢小	50	42	41	35	39	38	39	40	38
	隆郷小	136	140	136	127	130	124	118	102	94
	小瀬小	154	150	140	133	116	106	98	80	72
	中	八里小	85	79	78	71	60	62	55	48
伊勢畑小		43	37	36	37	37	37	32	33	35
野口小		71	83	71	63	66	64	65	65	65
長倉小		87	86	80	74	72	77	70	67	64
合計		2,602	2,555	2,499	2,469	2,399	2,347	2,290	2,196	2,086



学校名	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
中	大宮中	459	438	419	410	429	435	459	432	446	439	452	431	433	422	405
	第一中	167	167	166	161	155	160	157	159	146	145	120	111	105	101	82
	第二中	235	232	225	214	211	213	219	220	205	209	202	212	201	203	188
	山方中	223	219	198	187	170	174	161	158	138	140	136	150	141	125	96
	美和中	115	111	107	111	102	96	75	78	81	87	91	81	70	51	51
	緒川中	147	142	129	124	126	118	114	103	100	90	73	68	63	55	47
	御前山中	125	113	116	103	106	94	98	95	93	76	80	85	91	85	79
合計	1,471	1,422	1,360	1,310	1,299	1,290	1,283	1,245	1,209	1,186	1,154	1,138	1,104	1,042	948	

教育統計情報及び住民基本台帳登録者数より

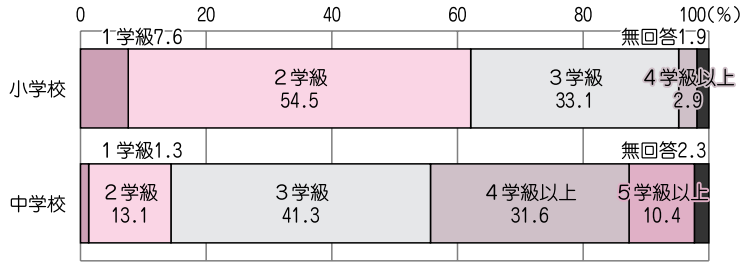
「学校の規模と通学区」に関する
市民アンケート調査結果（抜粋）

市教育委員会では、学校施設等の教育資源の有効活用を図りつつ「望ましい学校規模」を検討するために、平成19年7月に「学校の規模と通学区に関する市民アンケート」を実施しました。今回は、そのアンケート結果の一部をお知らせします。

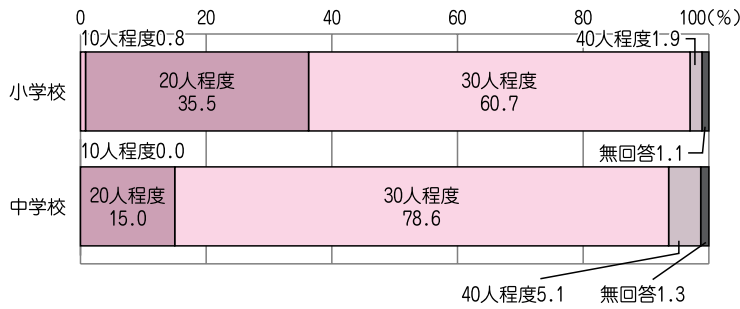
アンケートは、市民2,000人を対象（無作為抽出）に、平成19年7月13日～27日に、郵送配布、郵送回収により実施しました。

（回収率37・7％）

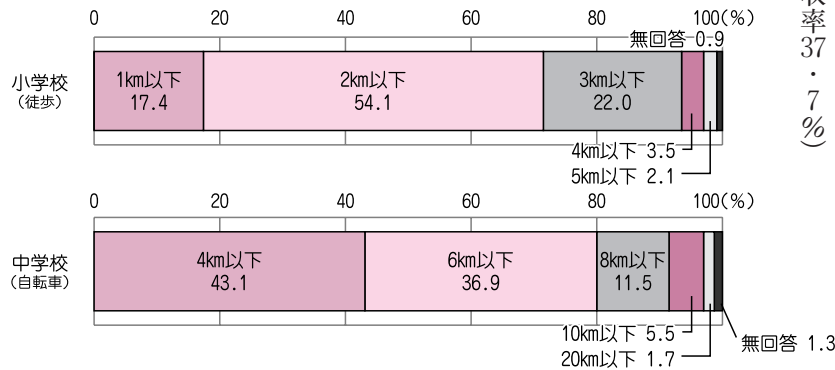
■望ましい1学年の学級数



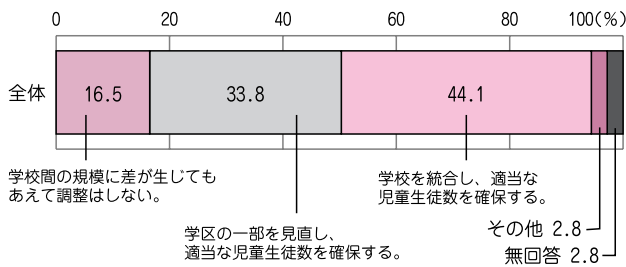
■望ましい1学級の人数（40人に満たない場合）



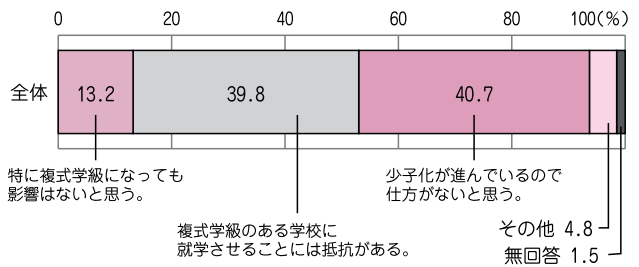
■望ましい通学距離



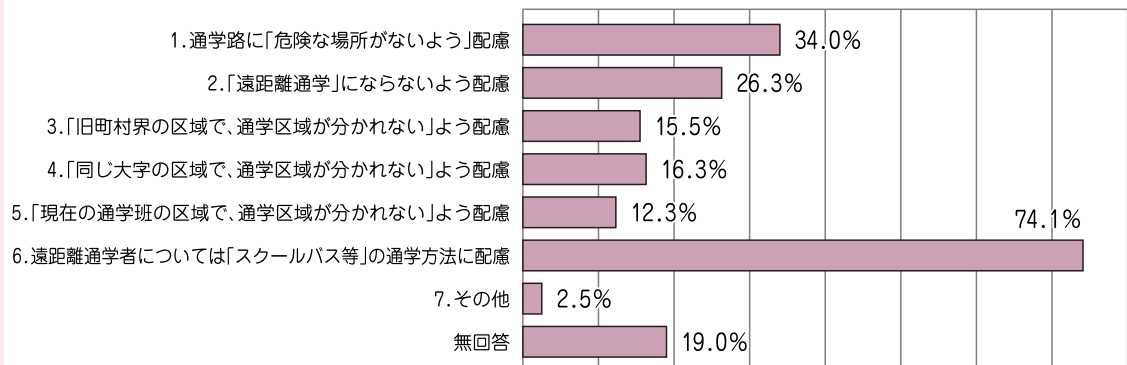
■児童生徒数の減少に伴う、学校の再編の考え方



■複式学級に対する考え方



■学区再編の際に配慮すべきこと（複数回答）



教育委員会学校教育課
問い合わせ先

☎ 52-1111
内線 335・3338